

令和2年度（令和2年10月入学）
令和3年度（令和3年4月入学）

新潟大学大学院医歯学総合研究科
医学系専攻【博士課程】

学 生 募 集 要 項

（ 一 般 入 試 ）
社 会 人 特 別 入 試
外 国 人 留 学 生 特 別 入 試

新潟大学大学院医歯学総合研究科

新型コロナウイルスの感染拡大状況等により本募集要項の内容に変更が生じた場合は以下のとおりホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特にご注意願います。

<https://www.med.niigata-u.ac.jp/>

☆ 入試日程

	令和2年10月入学	令和3年4月入学 ＜第1次募集＞
資格審査申請期限 (該当者のみ)	令和2年6月19日(金)【必着】	令和2年6月19日(金)【必着】
出願期間	令和2年 7月14日(火)～7月17日(金)【必着】	令和2年 7月14日(火)～7月17日(金)【必着】
試験日	令和2年8月18日(火)	令和2年8月18日(火)
合格発表	令和2年9月11日(金)	令和2年9月11日(金)
入学手続期間	令和2年 9月23日(水)～9月24日(木)	令和3年 3月1日(月)～3月3日(水)

	令和3年4月入学 ＜第2次募集＞	令和3年4月入学 ＜第3次募集＞
資格審査申請期限 (該当者のみ)	令和2年10月15日(木)【必着】	令和2年12月11日(金)【必着】
出願期間	令和2年 11月9日(月)～11月12日(木)【必着】	令和3年 1月12日(火)～1月14日(木)【必着】
試験日	令和2年12月9日(水)	令和3年2月3日(水)
合格発表	令和3年1月20日(水)	令和3年3月12日(金)
入学手続期間	令和3年 3月1日(月)～3月3日(水)	令和3年 3月23日(火)～3月24日(水)

新潟大学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では、災害等の被災者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。

免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、新潟大学ホームページの「受験生特設サイト」をご覧ください。

受験生特設サイト：<https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>

目 次

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
I. 令和2年度（令和2年10月入学）入試	
○ 一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試	
1. 募集人員	5
2. 出願資格	6
3. 出願期間及び出願書類等提出先	7
4. 出願書類等	8
5. 入学者の選抜方法等	10
6. 試験場	11
7. 合格者の発表及び入学手続	11
8. 授業料	11
9. その他	12
II. 令和3年度（令和3年4月入学）入試	
○ 一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試	
1. 募集人員	13
2. 出願資格	14
3. 出願期間及び出願書類等提出先	15
4. 出願書類等	16
5. 入学者の選抜方法等	18
6. 試験場	19
7. 合格者の発表及び入学手続	19
8. 授業料	20
9. その他	20
III. 出願資格の確認	21
IV. 本研究科所定用紙（出願書類等）	
V. 新潟大学大学院医歯学総合研究科入学案内	25

☆問い合わせ先

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地
新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係
TEL (025) 227-2015

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

分子細胞医学専攻（医学系専攻）

【教育理念・目標】

医歯学総合研究科は、生命科学や技術の著しい進歩、多様化する医療課題、ニーズに対応するため、先端的生命科学についての教育・研究に重点を置くとともに、その成果を医療の発展に活かし、地域社会と世界の医療に貢献できる人材の養成を目指しています。また、社会人入学制度と連携し、生涯教育を充実・普及させます。

その中で、分子細胞医学専攻は、分子細胞生物学的手法を駆使して、疾患の成り立ちの解明、予防法、治療法の研究と開発を行うとともに、分子細胞医学に関わる先端生命科学、応用専門医学、境界領域医学の研究者及び高度医療専門職業人を養成します。

【教育内容・特色】

本専攻は、生命現象や疾患の成り立ちなどを遺伝子、タンパク、細胞レベルで解析する「遺伝子制御」、「シグナル伝達」、「細胞機能」、「分子情報医学」、「新領域開拓研究センター」、「連携大学院」（東京都医学総合研究所、放射線医学総合研究所）の6つの大講座からなり、大講座には個々の入学者のニーズに対応した29の教育研究分野があります。29の教育研究分野のいずれかを選択し、その分野の主指導教員と他分野の副指導教員の指導の下、1年次には、専攻共通必修科目として「ライフサイエンス研究概論」を、専攻共通選択科目として「動物実験法演習」、「分子生物学演習」、「細胞機能研究法演習」、「組織構造研究法演習」を履修し、分子細胞医学に関する基礎的素養、先進知識と技術を習得します。1年次以降は、専攻個別科目として6つの大講座をまたいだ領域横断的授業を受けつつ、学位論文作成に向けた研究活動を行います。

生体機能調節医学専攻（医学系専攻）

【教育理念・目標】

医歯学総合研究科は、生命科学や技術の著しい進歩、多様化する医療課題、ニーズに対応するため、先端的生命科学についての教育・研究に重点を置くとともに、その成果を医療の発展に活かし、地域社会と世界の医療に貢献できる人材の養成を目指しています。また、社会人入学制度と連携し、生涯教育を充実・普及させます。

その中で、生体機能調節医学専攻は、生体を臓器、器官の面から総合的に捉え、生体機能、病態を解析する研究を行い、疾患の予防法、治療法を開発するとともに、生体機能調節に関わる先端生命科学、応用専門医学、境界領域医学の研究者及び高度医療専門職業人を養成します。

【教育内容・特色】

本専攻は、生体を臓器や器官のレベルで総合的に解析する「内部環境医学」、「器官制御医学」、「機能再建医学」、「感覚統合医学」、「腎科学」、「可塑性機能制御」の6つの大講座からなり、大講座には個々の入学者のニーズに対応した35の教育研究分野があります。35の教育研究分野のいずれかを選択し、その分野の主指導教員と他分野の副指導教員の指導の下、1年次には、専攻共通必修科目として「生体調節機能概論」を、専攻共通選択科目として「生体機能研究法演習」、「移植医学演習」、「脳機能イメージング演習」、「器官臓器実験法演習」を履修し、臓器・器官レベルの生命活動に関する基礎的素養、先進知識と技術を習得します。1年次以降は、専攻個別科目として6つの大講座をまたいだ領域横断的授業を受けつつ、学位論文作成に向けた研究活動を行います。

地域疾病制御医学専攻（医学系専攻）

【教育理念・目標】

医歯学総合研究科は、生命科学や技術の著しい進歩、多様化する医療課題、ニーズに対応するため、先端的生命科学についての教育・研究に重点を置くとともに、その成果を医療の発展に活かし、地域社会と世界の医療に貢献できる人材の養成を目指しています。また、社会人入学制度と連携し、生涯教育を充実・普及させます。

その中で、地域疾病制御医学専攻は、疾病を社会、空間、時間などとの関連から分析する研究を行い、少子高齢化、情報化社会に対応する地域的疾病の予防法、制御法を開発するとともに、それらに関わる先端生命科学、応用専門医学、境界領域医学の研究者及び高度医療専門職業人を養成します。

【教育内容・特色】

本専攻は、疾病を社会、空間、時間などとの関連から総合的に解析する「国際感染医学」、「地域予防医学」、「総合医療評価学」の3つの大講座からなり、大講座には個々の入学者のニーズに対応した14の教育研究分野があります。14の教育研究分野のいずれかを選択し、その分野の主指導教員と他分野の副指導教員の指導の下、1年次には、専攻共通必修科目として「地域疾病制御概論」を、専攻共通選択科目として「医療統計学演習」、「感染学演習」、「免疫研究法演習」、「理論疫学演習」を履修し、感染症・免疫学、国際保健、予防医学、医療統計学に関する基礎的素養、先進知識と技術を習得します。1年次以降は、専攻個別科目として3つの大講座をまたいだ領域横断的授業を受けつつ、学位論文作成に向けた研究活動を行います。

【求める学生像】（医学系3専攻共通）

1. 先端生命科学を担う研究者を目指す人
2. 医学・医療の分野で、高度専門職業人として社会に貢献する意志と意欲のある人
3. 自ら研究課題を開拓し、独創的な研究を遂行したい人

【入学者選抜の基本方針】（医学系3専攻共通）

○一般入試・社会人特別入試

- ・医学科卒業生、修士課程修了者もしくはそれらと同等レベルの基礎学力を持つとともに、志望する教育研究分野への高い理解度を持つ人を選抜します。
- ・個別学力検査では、専門科目と英語を課し、志望する研究教育分野に対する高い理解度、研究に必要な語学力を評価します。

○外国人留学生特別入試

- ・医学科卒業生、修士課程修了者もしくはそれらと同等のレベルの基礎学力を持つとともに、志望する教育研究分野への高い理解度を持つ人を選抜します。
- ・個別学力検査では、専門科目と英語を課し、志望する研究教育分野に対する高い理解度、研究や周囲とのコミュニケーションに必要な語学力を評価します。

I. 令和2年度（令和2年10月入学）入試

一 般 入 試

社 会 人 特 別 入 試

外 国 人 留 学 生 特 別 入 試

- 令和２年度新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程（令和２年１０月入学）の学生を、次のとおり募集します。

１．募 集 人 員

専攻	大講座	募集人員	備考
分子細胞医学専攻	遺 伝 子 制 御	若干人	募集人員の中には，一般入試，社会人特別入試，外国人留学生特別入試及び本学大学院の博士前期課程若しくは修士課程からの進学者を含みます。
	シグナル伝達		
	細 胞 機 能		
	分子情報医学		
	新 領 域 開 拓 研究センター		
	連 携 大 学 院		
生 体 機 能 調 節 医 学 専 攻	内 部 環 境 医 学	若干人	
	器官制御医学		
	機能再建医学		
	感覚統合医学		
	腎 科 学		
	可塑性機能制御		
地 域 疾 病 制 御 医 学 専 攻	国 際 感 染 医 学	若干人	
	地 域 予 防 医 学		
	総合医療評価学		

（注）出願に際しては、あらかじめ志望する教育研究分野の指導教員に問い合わせてください。問い合わせ先の電話番号，Eメールアドレスは入学案内（25 ページ以降）を参照してください。

2. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者。

なお、社会人特別入試については、本大学院医歯学総合研究科入学時に既に就業しているか、又は入学後に就業することが見込まれる者で、入学後も引き続き職業を有し、次の各号のいずれかに該当する者。

また、外国人留学生特別入試については、日本の国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者及び令和 2 年 9 月までに卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における 18 年の課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び令和 2 年 9 月までに修了見込みの者（22 ページ参照）
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び令和 2 年 9 月までに修了見込みの者（22 ページ参照）
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 2 年 9 月までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 5 年以上である課程（医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 2 年 9 月までに授与される見込みの者（22 ページ参照）
- (6) 文部科学大臣の指定した者（7 ページの注を参照）
- (7) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院（医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程（当該課程に係る研究科の基礎となる学部の修業年限が 6 年であるものに限る。）又は獣医学を履修する博士課程に限る。）に入学した者であって、当該者をその後に本学の医歯学総合研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（23 ページ参照）
- (8) 学校教育法第 83 条に定める大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を令和 2 年 9 月までに 4 年以上在学した者で、又は外国において学校教育における 16 年の課程（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了若しくは令和 2 年 9 月までに修了見込みの者で、本研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（24 ページ参照）
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 2 年 9 月 30 日までに 24 歳に達する者（24 ページ参照）

注 「2. 出願資格（6）」の「文部科学大臣の指定した者」とは、次のいずれかに該当する者です。

- ① 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
- ② 防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
- ③ 修士課程又は学校教育法（昭和22年法律第26号）第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で本研究科において、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（22 ページ参照）
- ④ 大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（23 ページ参照）

※ 「2. 出願資格の(2), (3)及び(5)～(9)」に該当する者については、あらかじめ出願資格の確認を行いますので、21 ページの「Ⅲ. 出願資格の確認」に従って確認を受けてください。

ただし、「2. 出願資格（6）」の注①又は②に該当する者は、出願資格の確認は必要ありません。

3. 出願期間及び出願書類等提出先

(1) 出願期間

令和2年7月14日（火）から7月17日（金）まで（必着）

持参する場合の受付時間は、午前8時30分から午後5時までとします。

郵送する場合は、必ず「書留速達」としてください。

(2) 出願書類等提出先

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地
新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係
電話 (025)227-2015

4. 出 願 書 類 等

志願者は、下記の出願書類等を取りそろえ、出願期間中に直接持参又は書留速達郵便にて郵送してください。

(1) 全員が提出するもの

出 願 書 類 等	摘 要
・入学志願票 ①・受験票 ・写真票	本要項に添付の所定用紙を使用してください。 記入にあたっては志願票記載の注意事項に留意してください。 なお、「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を所定欄に確実に貼ってください。（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）
② 検 定 料 30,000 円	本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。 なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。 ① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。 ② 検定料の振込みは、令和2年7月7日（火）から7月17日（金）[15時00分]までの期間内に必ず行ってください。（※土・日曜日の振込みは、できません。） ③ A T M（現金自動預入払機）での振込みはできません。
③ 検定料納付証明書（新潟大学提出用）	金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を志願票の所定欄に貼ってください。 （※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）
④ 卒業（見込）証明書又は学位授与証明書	出身大学の学長（学部長）又は出身学校の学校長が作成したものとします。ただし、学位記（卒業証書）の写しで代えることができます。 本学医学部及び歯学部卒業（見込み）者は、提出する必要はありません。

⑤ 返信用封筒 3枚 ・入学試験関係書類在中 ・合格通知書在中 ・入学手続書類在中	本要項に添付の返信用封筒3枚を提出してください。 封筒の表には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。 「入学試験関係書類在中」封筒には郵便切手384円分を貼ってください。 「合格通知書在中」封筒及び「入学手続書類在中」封筒には郵便切手を貼る必要はありません。
--	--

(注) 卒業証明書等に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、改氏名の事実を証明できる書類（戸籍抄本等・コピーでも可）をあわせて提出してください。

(2) 該当する者が提出するもの

(なお、出願資格確認の際に提出した書類については、再度提出する必要はありません。)

⑥ 大学院修士課程 修了（見込）証明書	大学院研究科修士課程修了（見込み）者のみ提出してください。出身大学院の研究科長が作成したものとしします。ただし、学位記の写しで代えることができます。
⑦ 大学院修士課程 成績証明書	大学院研究科修士課程修了（見込み）者のみ提出してください。
⑧ 研究概要 (社会人特別入試 出願者のみ)	大学卒業後に行った医学又は歯学に関する研究があれば、その概要をA4版の用紙にまとめて提出してください。（様式は適宜） ※大学院入学後の研究希望テーマとの関連性も併せて記載してください。
⑨ 臨床経験概要 (社会人特別入試 出願者のみ)	大学卒業後の臨床経験がある者は、その概要をA4版の用紙にまとめて提出してください。（様式は適宜） ※大学院入学後の研究希望テーマとの関連性も併せて記載してください。
⑩ 受験承諾書 (社会人特別入試 出願者のみ)	出願時に在職中の者は、本要項に添付の様式による書面に、所属長の公印で承諾されたものを提出してください。
⑪ 在留カードの写し 又はパスポートの写し (外国人留学生特別入試出願者のみ)	在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。

5. 入学者の選抜方法等

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）及び出願書類等により行います。
入学者選抜の判定は、当該試験等の結果を総合して行います。

(1) 一般入試

学力検査の日時及び試験内容

試験期日	時間	試験内容
令和2年8月18日(火)	10:00～11:30	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
	13:00～14:30	専門科目 （第一志望の教育研究分野から出題）
	15:00～16:30	専門科目 （第二志望の教育研究分野から出題）

注1）希望により、新潟大学大学院医学研究科もしくは医歯学総合研究科外国語試験（英語）合格者については、上記外国語（英語）を免除します。免除を希望する者は、出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。

注2）専門科目の試験方法は、①筆記、②口述、③筆記及び口述、のいずれか1つになります。

注3）辞書については、電子辞書及び医学辞書（辞典）は不可とします。

(2) 社会人特別入試

学力検査の日時及び試験内容

試験期日	時間	試験内容
令和2年8月18日(火)	10:00～11:30	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
	13:00～14:30	専門科目 （第一志望の教育研究分野から出題）
	15:00～16:30	専門科目 （第二志望の教育研究分野から出題）

注1）希望により、新潟大学大学院医学研究科もしくは医歯学総合研究科外国語試験（英語）合格者については、上記外国語（英語）を免除します。免除を希望する者は、出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。

注2）専門科目の試験方法は、①筆記、②口述、③筆記及び口述、のいずれか1つになります。

注3）辞書については、電子辞書及び医学辞書（辞典）は不可とします。

(3) 外国人留学生特別入試

学力検査の日時及び試験内容

試験期日	時間	試験内容
令和2年8月18日(火)	10:00～11:30	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
	13:00～14:30	専門科目 （第一志望の教育研究分野から出題）
	15:00～16:30	専門科目 （第二志望の教育研究分野から出題）

注1）希望により，新潟大学大学院医学研究科もしくは医歯学総合研究科外国語試験（英語）合格者については，上記外国語（英語）を免除します。免除を希望する者は，出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。

注2）専門科目の試験方法は，①筆記，②口述，③筆記及び口述，のいずれか1つになります。

注3）辞書については，電子辞書及び医学辞書（辞典）は不可とします。

6. 試験場

新潟大学医学部（新潟市中央区旭町通1番町757番地）

7. 合格者の発表及び入学手続

(1) 合格者の発表

令和2年9月11日（金）午前10時 医学部医学科大講義室前

上記日時に合格者の受験番号を掲示により発表します。

また，発表と同時に，合格者へは郵送により合格通知書等を送付します。

なお，可否に関する電話等による問い合わせには，一切応じません。

(2) 入学手続

入学手続の概要は，次のとおりです。詳細については，合格者に別途通知します。

① 入学手続期間

令和2年9月23日（水）から9月24日（木）まで（必着）

郵送または持参してください。郵送の場合は，書留速達とし，持参の場合は午前8時30分から午後5時までとします。

② 入学に要する経費

○ 入 学 料 282,000 円（予定額）

（注） 入学料免除希望者は，入学手続時に入学料を納付しないでください。

8. 授業料

年額 535,800 円（前期分 267,900 円，後期分 267,900 円）〔予定額〕

（注1） 授業料は，入学後，口座引き落としにより納入していただく予定です。

（注2） 授業料の納入方法の詳細については，合格者に別途通知します。

（注3） 在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

9. その他

- (1) 出願書類等提出後は、記載事項の変更は認めません。
- (2) 障がい有する者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、令和2年6月19日(金)までに「出願書類等提出先（7 ページ参照）」に相談してください。
- (3) 既納の検定料及び提出された出願書類等は返還しません。

ただし、検定料振込み後、出願期間内に「出願書類等」を提出しなかった場合は、当該検定料（30,000 円）を返還します。

詳細は、本学ホームページの

「受験生特設サイト」(<https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>)

→「納付済検定料返還手続」を参照してください。

なお、請求書の郵送を希望される方は、財務部財務管理課収入係まで連絡してください。

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地
新潟大学財務部財務管理課収入係
電話（025）262-6053

Ⅱ. 令和3年度（令和3年4月入学）入試

（第1次募集・第2次募集・第3次募集）

一 般 入 試

社 会 人 特 別 入 試

外 国 人 留 学 生 特 別 入 試

- 令和3年度新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程(令和3年4月入学)の学生を、次のとおり募集します。

1. 募 集 人 員

専攻	大講座	募集人員	備考
分子細胞医学専攻	遺 伝 子 制 御	22人	第1次募集，第2次募集及び第3次募集をあわせた募集人員です。 募集人員の中には，一般入試，社会人特別入試，外国人留学生特別入試及び本学大学院の博士前期課程若しくは修士課程からの進学者を含みます。
	シグナル伝達		
	細 胞 機 能		
	分子情報医学		
	新 領 域 開 拓 研究センター		
	連 携 大 学 院		
生体機能調節 医 学 専 攻	内部環境医学	37人	
	器官制御医学		
	機能再建医学		
	感覚統合医学		
	腎 科 学		
	可塑性機能制御		
地 域 疾 病 制 御 医 学 専 攻	国際感染医学	14人	
	地域予防医学		
	総合医療評価学		
計		73人	

(注) 出願に際しては, あらかじめ志望する教育研究分野の指導教員に問い合わせてください。問い合わせ先の電話番号, Eメールアドレスは入学案内(25ページ以降)を参照してください。

2. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者。

なお、社会人特別入試については、本大学院医歯学総合研究科入学時に既に就業しているか、又は入学後に就業することが見込まれる者で、入学後も引き続き職業を有し、次の各号のいずれかに該当する者。

また、外国人留学生特別入試については、日本の国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者及び令和 3 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における 18 年の課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び令和 3 年 3 月までに修了見込みの者（22 ページ参照）
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び令和 3 年 3 月までに修了見込みの者（22 ページ参照）
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 3 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 5 年以上である課程（医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 3 年 3 月までに授与される見込みの者（22 ページ参照）
- (6) 文部科学大臣の指定した者（15 ページの注を参照）
- (7) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院（医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程（当該課程に係る研究科の基礎となる学部の修業年限が 6 年であるものに限る。）又は獣医学を履修する博士課程に限る。）に入学した者であって、当該者をその後に本学の医歯学総合研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（23 ページ参照）
- (8) 学校教育法第 83 条に定める大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を令和 3 年 3 月までに 4 年以上在学した者で、又は外国において学校教育における 16 年の課程（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了若しくは令和 3 年 3 月までに修了見込みの者で、本研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（24 ページ参照）
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 3 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者（24 ページ参照）

注 「2. 出願資格の(6)」の「文部科学大臣の指定した者」とは、次のいずれかに該当する者です。

- ① 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
- ② 防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
- ③ 修士課程又は学校教育法（昭和22年法律第26号）第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で本研究科において、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（22 ページ参照）
- ④ 大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（23 ページ参照）

※ 「2. 出願資格の(2), (3)及び(5)～(9)」に該当する者については、あらかじめ出願資格の確認を行いますので、21 ページの「Ⅲ. 出願資格の確認」に従って確認を受けてください。

ただし、「2. 出願資格の(6)」の注①又は②に該当する者は、出願資格の確認は必要ありません。

3. 出願期間及び出願書類等提出先

(1) 出願期間

第1次募集	令和2年7月14日（火）～7月17日（金）	【必着】
第2次募集	令和2年11月9日（月）～11月12日（木）	【必着】
第3次募集	令和3年1月12日（火）～1月14日（木）	【必着】

持参する場合の受付時間は、午前8時30分から午後5時までとします。

郵送する場合は、必ず「書留速達」としてください。

(2) 出願書類等提出先

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地
新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係
電話 (025)227-2015

4. 出 願 書 類 等

志願者は、下記の出願書類等を取りそろえ、出願期間中に直接持参又は書留速達郵便にて郵送してください。

(1) 全員が提出するもの

出 願 書 類 等	摘 要
・入学志願票 ①・受験票 ・写真票	本要項に添付の所定用紙を使用してください。 記入にあたっては志願票記載の注意事項に留意してください。 なお、「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を所定欄に確実に貼ってください。（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）
② 検 定 料 30,000 円	本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。 ① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。 ② 検定料の振込みは、下記の期間内に必ず行ってください。 （※土・日曜日・祝日の振込みは、できません。） 第1次募集 令和2年7月7日（火）から7月17日（金） [15時00分] 第2次募集 令和2年11月2日（月）から11月12日（木） [15時00分] 第3次募集 令和3年1月5日（火）から1月14日（木） [15時00分] ③ ATM（現金自動預入払機）での振込みはできません。
③ 検定料納付証明書（新潟大学提出用）	金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を志願票の所定欄に貼ってください。 （※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）
④ 卒業（見込）証明書又は学位授与証明書	出身大学の学長（学部長）又は出身学校の学校長が作成したものとします。ただし、学位記（卒業証書）の写しで代えることができます。 本学医学部及び歯学部卒業（見込み）者は、提出する必要はありません。

⑤ 返信用封筒 3枚 ・入学試験関係書類在中 ・合格通知書在中 ・入学手続書類在中	本要項に添付の返信用封筒3枚を提出してください。 封筒の表には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。 「入学試験関係書類在中」封筒には郵便切手384円分を貼ってください。 「合格通知書在中」封筒及び「入学手続書類在中」封筒には郵便切手を貼る必要はありません。
--	--

(注) 卒業証明書等に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、改氏名の事実を証明できる書類（戸籍抄本等・コピーでも可）をあわせて提出してください。

(2) 該当する者が提出するもの

(なお、出願資格確認の際に提出した書類については、再度提出する必要はありません。)

⑥ 大学院修士課程 修了（見込）証明書	大学院研究科修士課程修了（見込み）者のみ提出してください。出身大学院の研究科長が作成したものとしします。 ただし、学位記の写しで代えることができます。
⑦ 大学院修士課程 成績証明書	大学院研究科修士課程修了（見込み）者のみ提出してください。
⑧ 研究概要 (社会人特別入試 出願者のみ)	大学卒業後に行った医学又は歯学に関する研究があれば、その概要をA4版の用紙にまとめて提出してください。（様式は適宜） ※大学院入学後の研究希望テーマとの関連性も併せて記載してください。
⑨ 臨床経験概要 (社会人特別入試 出願者のみ)	大学卒業後の臨床経験がある者は、その概要をA4版の用紙にまとめて提出してください。（様式は適宜） ※大学院入学後の研究希望テーマとの関連性も併せて記載してください。
⑩ 受験承諾書 (社会人特別入試 出願者のみ)	出願時に在職中の者は、本要項に添付の様式による書面に、所属長の公印で承諾されたものを提出してください。
⑪ 在留カードの写し 又はパスポートの写し (外国人留学生特別入試出願者のみ)	在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。

5. 入学者の選抜方法等

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）及び出願書類等により行います。
入学者選抜の判定は、当該試験等の結果を総合して行います。

(1) 一般入試

学力検査の日時及び試験内容

試験期日	時間	試験内容
第1次募集 令和2年8月18日（火）	10:00～11:30	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
第2次募集 令和2年12月9日（水）	13:00～14:30	専門科目 （第一志望の教育研究分野から出題）
第3次募集 令和3年2月3日（水）	15:00～16:30	専門科目 （第二志望の教育研究分野から出題）

注1）希望により、新潟大学大学院医学研究科もしくは医歯学総合研究科外国語試験（英語）合格者については、上記外国語（英語）を免除します。免除を希望する者は、出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。

注2）専門科目の試験方法は、①筆記、②口述、③筆記及び口述、のいずれか1つになります。

注3）辞書については、電子辞書及び医学辞書（辞典）は不可とします。

(2) 社会人特別入試

学力検査の日時及び試験内容

試験期日	時間	試験内容
第1次募集 令和2年8月18日（火）	10:00～11:30	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
第2次募集 令和2年12月9日（水）	13:00～14:30	専門科目 （第一志望の教育研究分野から出題）
第3次募集 令和3年2月3日（水）	15:00～16:30	専門科目 （第二志望の教育研究分野から出題）

注1）希望により、新潟大学大学院医学研究科もしくは医歯学総合研究科外国語試験（英語）合格者については、上記外国語（英語）を免除します。免除を希望する者は、出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。

注2）専門科目の試験方法は、①筆記、②口述、③筆記及び口述、のいずれか1つになります。

注3）辞書については、電子辞書及び医学辞書（辞典）は不可とします。

(3) 外国人留学生特別入試

学力検査の日時及び試験内容

試験期日	時間	試験内容
第1次募集 令和2年8月18日(火)	10:00～11:30	外国語(英語) (辞書持ち込み可)
第2次募集 令和2年12月9日(水)	13:00～14:30	専門科目 (第一志望の教育研究分野から出題)
第3次募集 令和3年2月3日(水)	15:00～16:30	専門科目 (第二志望の教育研究分野から出題)

注1) 希望により、新潟大学大学院医学研究科もしくは医歯学総合研究科外国語試験(英語)合格者については、上記外国語(英語)を免除します。免除を希望する者は、出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。

注2) 専門科目の試験方法は、①筆記、②口述、③筆記及び口述、のいずれか1つになります。

注3) 辞書については、電子辞書及び医学辞書(辞典)は不可とします。

6. 試験場

新潟大学医学部 (新潟市中央区旭町通1番町757番地)

7. 合格者の発表及び入学手続

(1) 合格者の発表

第1次募集	令和2年9月11日(金) 午前10時 医学部医学科大講義室前
第2次募集	令和3年1月20日(水) 午前10時 医学部医学科大講義室前
第3次募集	令和3年3月12日(金) 午前10時 医学部医学科大講義室前

上記日時に合格者の受験番号を掲示により発表します。

また、発表と同時に、合格者へは郵送により合格通知書等を送付します。

なお、可否に関する電話等による問い合わせには、一切応じません。

(2) 入学手続

入学手続の概要は、次のとおりです。詳細については、合格者に別途通知します。

① 入学手続期間

第1次募集	令和3年3月1日(月)から3月3日(水)まで(必着)
第2次募集	
第3次募集	令和3年3月23日(火)から3月24日(水)まで(必着)

郵送または持参してください。郵送の場合は、書留速達とし、持参の場合は午前8時30分から午後5時までとします。

② 入学に要する経費

○ 入 学 料 282,000 円（予定額）

（注）入学料免除希望者は、入学手続き時に入学料を納付しないでください。

8. 授 業 料

年額 535,800 円（前期分 267,900 円，後期分 267,900 円）〔予定額〕

（注1）授業料は、入学後、口座引き落としにより納入していただく予定です。

（注2）授業料の納入方法の詳細については、合格者に別途通知します。

（注3）在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

9. そ の 他

(1) 出願書類等提出後は、記載事項の変更は認めません。

(2) 障がい等を有する者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、出願前に出願書類等提出先（15 ページ参照）に相談してください。

(3) 既納の検定料及び提出された出願書類等は返還しません。

ただし、検定料振込み後、出願期間内に書類等を提出しなかった場合は、当該検定料（30,000 円）を返還します。

詳細は、本学ホームページの

「受験生特設サイト」(<https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>)

→「納付済検定料返還手続」を参照してください。

なお、請求書の郵送を希望される方は、財務部財務管理課収入係まで連絡してください。

〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 番地
新潟大学財務部財務管理課収入係
電話（025）262-6053

Ⅲ. 出 願 資 格 の 確 認

「2. 出願資格の(2), (3) 及び(5)～(9)」に該当する者については、必ず下記「5 問い合わせ先」へ電話連絡の上、次により出願資格の確認を受けてから出願してください。

ただし、「2. 出願資格の(6)」の注①又は②に該当する者は、出願資格の確認は必要ありません。

なお、事前連絡なく出願があった場合は、受理できない場合があります。

1 提出書類等

次ページ以降の「各出願資格について」を参照してください。

なお、外国語で作成された書類には、日本語の訳文を必ず添付してください。

2 提出方法

出願資格の審査書類は、持参（午前8時30分から午後5時までの、土曜日、日曜日及び祝日を除く。）または、郵送により送付してください。

3 提出期限

令和2年10月入学	令和2年6月19日（金）【必着】
令和3年4月入学 （第1次募集）	
令和3年4月入学 （第2次募集）	令和2年10月15日（木）【必着】
令和3年4月入学 （第3次募集）	令和2年12月11日（金）【必着】

4 出願資格審査結果の通知

出願資格審査の結果は、出願期間開始前までに、本人あて郵送により通知します。出願資格を認定された申請者は、出願手続きを行ってください。

5 問い合わせ先

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地
新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係
電話 (025)227-2015

○各出願資格について

1. 「出願資格（2），（3）」により出願する場合の，審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 出願資格確認用履歴書	
③ 卒業（修了）証明書又は 卒業（修了）見込証明書	最終出身大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。
④ 成績証明書	
⑤ 研究業績調書及び 研究経過報告書	大学等卒業（修了）後に医療機関，研究機関等における業績・研究等がある場合は，本要項に添付の所定用紙により，詳細に記入してください。
⑥ 在留カードの写し又はパス ポートの写し（外国人留 学生特別入試出願者のみ）	在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし，渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。
⑦ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所，氏名，郵便番号を明記し，郵便切手384円分を貼ってください。

※ ③，④については，本物（オリジナル）を提出し，必ず和訳文を添付してください。

2. 「出願資格（5）」により出願する場合には，審査に必要な書類を指示しますので前頁の問い合わせ先に連絡してください。

3. 「出願資格（6）の注③」により出願する場合の，審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 修了（見込）証明書	出身（在学）大学院の研究科長が発行したものを提出してください。
③ 成績証明書	出身（在学）大学院の研究科長が発行したものを提出してください。
④ 研究業績調書及び 研究経過報告書	大学等卒業（修了）後に医療機関，研究機関等における業績・研究等がある場合は，本要項に添付の所定用紙により，詳細に記入してください。
⑤ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所，氏名，郵便番号を明記し，郵便切手384円分を貼ってください。

4. 「出願資格（6）の注④」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 卒業（修了）証明書	最終出身大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。
③ 成績証明書	
④ 研究業績調書及び研究経過報告書	本要項に添付の所定用紙により、大学等卒業（修了）後に医療機関、研究機関等における業績・研究等がある場合は、詳細に記入してください。 なお、論文又は研究発表等がある場合は、コピー又は別刷を添付してください。
⑤ 臨床経験証明書及び職務内容証明書	臨床経験がある場合のみ提出してください。（様式任意）
⑥ 在留カードの写し又はパスポートの写し(外国人留学生特別入試出願者のみ)	在留カードの写し(表裏両面)を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。
⑦ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手 384 円分を貼ってください。

5. 「出願資格（7）」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 成績証明書	出身大学の学長（学部長）及び在学大学院の研究科長が発行したものを提出してください。
③ 在学証明書	在学大学院の研究科長が発行したものを提出してください。 なお、本学大学院在学者は不要です。
④ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手 384 円分を貼ってください。

6. 「出願資格（8）」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 在学証明書	現在も在学中の者のみ、在学大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。 なお、本学在学者は不要です。
③ 成績証明書	在学（出身）大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。
④ 研究業績調書及び 研究経過報告書	業績・研究等がある場合は、本要項に添付の所定用紙により提出してください。
⑤ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手384円分を貼ってください。

※ 本出願資格で入学する者は、当該大学の学部を退学することになります。従って種々の国家試験等の受験資格で大学の学部を卒業することを要件としているものについては、受験資格が得られないことになります。

7. 「出願資格（9）」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 卒業（修了）証明書	最終出身学校長が発行したものとしします。短期大学又は高等専門学校の特攻科等の修了者は、短期大学又は高等専門学校の卒業証明書と専攻科等の修了証明書を提出してください。
③ 成績証明書	最終出身学校長が発行したものとしします。短期大学又は高等専門学校の特攻科等の修了者は、短期大学又は高等専門学校の成績証明書と専攻科等の成績証明書を提出してください。
④ 研究業績調書及び 研究経過報告書	学校等卒業（修了）後に医療機関、研究機関等における業績・研究等（短期大学又は高等専門学校の専攻科等の修了者は、専攻科等における業績、研究状況等を含む。）がある場合は、本要項の所定用紙により、詳細に記入してください。 なお、論文又は研究発表等がある場合は、コピー又は別刷を添付してください。
⑤ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手384円分を貼ってください。

V. 新潟大学大学院医歯学総合研究科入学案内

1. 組織及び教育研究内容

- 注1. Telは「025（市外局番）－227（局番）」の表記を、e-mailは「niigata-u.ac.jp」の表記を省略しています。
 （分子細胞医学専攻の連携大学院を除く。）
 注2. ※の指導教員は兼任を示します。
 注3. 指導教員が不在の分野は、問い合わせ先を掲載しています。

専 攻	大 講 座	教育研究分野	指 導 教 員	教 育 研 究 内 容
分子細胞医学	遺伝子制御	オミクス生物学	松 本 雅 記 Tel 2077 e-mail masakim@med.	・ オミクス技術によるがんや老化の分子基盤に関する研究 ・ タンパク質動態制御機構に関する研究 ・ マルチオミクス計測によるシステム生物学的研究 ・ タンパク質化学やプロテオミクスにおける技術開発
		分子・診断病理学	※ 味 岡 洋 一 Tel 2093 e-mail ajioka@med.	・ 消化管癌，胆道癌及び膵癌，炎症性腸疾患の形態・分子病理学 ・ 外科病理診断学，画像診断のための病理学
		腫瘍放射線医学	問合せ先 准教授 吉村 宣彦 Tel 2315 e-mail nyryl103@med.	・ 放射線腫瘍学に関する臨床研究 ・ 放射線治療方法にかかわる基礎的研究
		生殖器官制御	榎 本 隆 之 Tel 2317 e-mail enomoto@med.	・ 子宮内膜症に関する疾患感受性遺伝子の同定 ・ 卵巣明細胞腺癌の発生に関与する遺伝子の同定 ・ 家族性卵巣癌発症メカニズム解明のためのゲノム変化の網羅的 検出 ・ 卵巣癌における抗癌剤耐性遺伝子の解析 ・ 子宮体癌の発症メカニズムの解明 ・ 卵巣癌の癌幹細胞同定とin vitro培養系の確立及び臨 床への応用
		肝臓病学	※ 寺 井 崇 二 Tel 2203 e-mail terais@med.	・ 消化器再生医学に関する研究 ・ 消化・吸収・代謝に関する研究 ・ 代謝に関わる免疫，脂肪化，線維化，癌化に関する研究 ・ Exosomeに関する研究（治療・診断） ・ バイオマテリアルを用いた応用研究・橋渡し研究 （遺伝子治療，細胞治療，内視鏡を用いた低侵襲治療）
		腫瘍外科学	※ 若 井 俊 文 Tel 2223 e-mail wakait@med.	・ 腫瘍外科学に関する研究 ・ 早期DNA損傷修復機構に関する研究 ・ 抗癌剤耐性機序/抗癌剤増感作用に関する研究 ・ 次世代シーケンズ解析・プロテオーム解析を用いた癌の分子 生物学に関する研究 ・ 癌細胞内シグナル伝達系パスウェイ解析 ・ 癌微小環境に作用する脂質メディエーターS1Pに関する研究 ・ 腸内細菌叢に関する研究 ・ 医療用人工知能AIに関する研究
		分子精神医学	※ 染 矢 俊 幸 Tel 2209 e-mail psy@med.	・ 精神疾患の分子遺伝学 ・ 精神疾患の分子生物学
		腫瘍学	西 條 康 夫 Tel 025-368-9003 e-mail yasosj@med.	・ 腫瘍内科学一般 ・ がん薬物療法，特に分子標的治療に関する研究 ・ 幹細胞と臓器再生に関する研究
	シグナル伝達	分子細胞機能学	五 十 嵐 道 弘 Tel 2083 e-mail tarokaja@med.	・ 神経成長に関与する分子間相互作用とリン酸化プロテ オミクスの解析 ・ プロテオグリカンによる神経再生と臓器修復の研究 ・ 成長円錐の機能に関するイメージングの研究 ・ 神経伝達・開口放出と小胞輸送の分子機構の研究

専 攻	大 講 座	教育研究分野	指 導 教 員	教 育 研 究 内 容
分子細胞医学	シグナル伝達	薬理学	平 島 正 則 Tel 2087 e-mail masanori@med.	- リンパ管・血管発生の制御機構に関する研究 - 体液分布の制御機構に関する研究 - 胎仔疾患モデルマウスを用いた病態制御法の開発 - 腫瘍における血管・リンパ管に関する研究
		分子腫瘍学	※ 問合せ先 准教授 齋藤 和英 Tel 2285 e-mail kazsaito@med.	- 泌尿生殖器腫瘍一般 - 泌尿生殖器腫瘍の基礎と分子生物学 - 泌尿生殖器腫瘍の治療 - a 化学療法 - b 免疫療法 - c 手術療法と尿路再建
	細胞機能	顕微解剖学	問合せ先 准教授 三上 剛和 Tel 2059 e-mail mikami-yoshikazu@med.	- 走査電子顕微鏡による生体組織構造解析 - 走査プローブ顕微鏡による細胞イメージング - 細胞と組織の細胞生物学的・形態学的機能解析
		分子細胞病理学	近 藤 英 作 Tel 2104 e-mail ekondo@med.	- 分子機能解析と病理病態の解析を総合した腫瘍病理学研究 - 人体病理診断学の研修と資格取得のための学位研究（病理専門医資格の取得のための学習） - ゲノム遺伝子レベル及びタンパクレベルの検出を用いた病理診断技術の研究（分子病理専門医資格のための学習）
		消化器内科学	寺 井 崇 二 Tel 2203 e-mail terais@med.	- ウイルス性肝炎に関する研究 - 肝癌の病態生理に関する研究 - 肝疾患の免疫に関する研究 - 消化管腫瘍の病態に関する研究 - 炎症性腸疾患に関する研究 - ヘリコバクター・ピロリ関連胃病変に関する研究
		皮膚科学	阿 部 理 一 郎 Tel 2282 e-mail aberi@med.	- 毛組織関連遺伝子発現の研究 - 皮膚電子顕微鏡学 - 皮膚遺伝性疾患の研究 - 皮膚アレルギー疾患の研究 - OASアレルギーの同定 5-hmC機能の解析
		生殖医学病態解析	※ 榎 本 隆 之 Tel 2317 e-mail enomoto@med.	- 子宮内膜症に関する疾患感受性遺伝子の同定 - 内膜症関連卵巣がんの発癌メカニズムの解明 - 婦人科癌における治療標的融合遺伝子の同定 - 婦人科悪性腫瘍がん幹細胞の特性解明 - 多嚢胞性卵巣症候群における若年子宮内膜癌発症に関する遺伝学的研究 - 乏精子症患者の精子の保存法の研究 - 未受精卵凍結保存の卵生存率及び受精率向上のための研究
		分子・病態病理学	味 岡 洋 一 Tel 2093 e-mail ajioka@med.	- 消化管癌の細胞機能分析 - 消化器癌の細胞粘液形質と組織発生・生物学的悪性度の解析
		生殖・周産期医学病態解析	問合せ先 准教授 西島 浩二 Tel 2320 e-mail kojigyne@med.	- 不育症と同種免疫 - 生殖異常と自己免疫異常 - 妊娠高血圧症候群の病態と免疫異常 - 妊娠高血圧症候群の遺伝的背景
	分子情報医学	分子神経生物学		※今年度募集なし
		神経内科学	小 野 寺 理 Tel 0683 e-mail onodera@bri. 問合せ先 准教授 金澤 雅人 Tel 0666 e-mail masa2@bri.	- 認知症、パーキンソン病、ALS等の神経難病の病態と治療 - 脳血管障害の病態と治療 - 免疫性神経筋疾患の病態と治療 - 多彩なモデル動物を利用した神経難病の病態解明 - 脳神経回路の再編、再生に関する研究

専 攻	大 講 座	教育研究分野	指 導 教 員	教 育 研 究 内 容
分子細胞医学	分子情報医学	脳神経外科学	藤 井 幸 彦 Tel 0650 e-mail yfujii@bri.	・中枢神経腫瘍の病態・治療の研究 ・脳血管障害の病態・治療の研究 ・機能的脳疾患の病態・治療の研究 ・小児脳神経疾患の病態・治療の研究 ・ヒト高次脳機能の病態・治療の研究 ・ヒト脳皮質再構築の機序と臨床応用の研究
		神経機能・発生・生殖工学	笹 岡 俊 邦 Tel 2163 e-mail sasaoka@bri	・疾患モデル動物の作製と遺伝子改変技術の開発 ・生殖補助医療等にも応用可能な生殖・発生工学技術開発 ・遺伝子改変動物を用いた脳機能分子の生理機能解析
		神経病因遺伝学	池 内 健 Tel 2343 e-mail ikeuchi@bri.	・アルツハイマー病のバイオマーカー研究 ・アルツハイマー病の関連遺伝子の同定 ・家族性アルツハイマー病の病態と治療研究 ・認知症の分子病態研究 ・神経疾患の生体試料バイオバンク構築
		細胞病態学	三 國 貴 康 Tel 0926 e-mail tmikuni@bri.	・生体脳でのゲノム編集技術の開発と応用 ・生体脳での分子イメージング技術の開発と応用 ・学習記憶の生理の分子レベルでの理解 ・発達障害の疾患モデルの迅速な作製 ・発達障害の病態の分子レベルでの理解 *当分野では、神経科学研究の発展に貢献する独自の技術を開発します。二光子顕微鏡や電気生理などの手法と組み合わせて、生体脳における「学習・記憶の生理」と「発達障害の病態」を分子レベルの解像度で理解することを目指します。卒業後の研究の場としては、国内だけではなく海外の研究室にも紹介可能です。
		腫瘍病態学	武 井 延 之 Tel 0617 e-mail nobtak@bri.	脳内には神経細胞やグリア細胞、また病態としての腫瘍細胞があり、発達過程でも機能が異なります。それらの細胞の中で起っていることを研究しています。 ・神経幹細胞、神経細胞、グリア細胞及び脳腫瘍細胞の細胞内情報伝達系の研究 ・神経幹細胞、神経細胞、グリア細胞及び脳腫瘍細胞の代謝の差異の解析 ・増殖因子、神経栄養因子、サイトカインの神経細胞、グリア細胞への作用の解析 ・mTORシグナルと細胞サイズ制御の研究
		脳病態解析学	松 井 秀 彰 Tel 0646 e-mail hide0729@bri.	・小型魚類（ゼブラフィッシュ、メダカ、アフリカメダカ）を用いた神経疾患の病態研究 ・小型魚類を用いた加齢関連疾患の病態研究 ・小型魚類を用いた発達障害のメカニズム研究 ・培養細胞、小型魚類、マウス、ヒトなど様々な研究対象を比較して進めるパーキンソン病の病態研究および創薬研究 ・小型魚類は可視性、遺伝子改変の容易さ、老化モデルの存在、などから発生から老化、加齢関連疾患まで様々な研究に強みを発揮します。さらに脳研究所に保管されたヒト剖検脳の所見と対比することで魚からヒトの生老病死を見つめる研究をしています。
	新領域開拓研究センター	神経発達学	杉 山 清 佳 Tel 0391 e-mail sugiyama@med.	・経験が脳の発達を促すメカニズムの研究 ・脳の発達期（臨界期）を制御する遺伝子群の研究 ・経験依存的に脳内を移動するホメオ蛋白質の研究 ・幼児期における視覚・情動の機能発達メカニズムの研究 ・脳の柔軟性を大人で再現するための方法を研究
		バイオインフォマティクス	奥 田 修 二 郎 Tel 0390 e-mail okd@med.	・腸内細菌叢のメタゲノムデータの解析手法の研究 ・腸内細菌叢の相互作用と疾患因子の関連についての研究 ・がんゲノムデータの解析手法の研究 ・リン酸化サイトの比較ゲノム研究 ・各種オミクスデータのデータベース構築 ・医療用人工知能の開発

専 攻	大 講 座	教育研究分野	指 導 教 員	教 育 研 究 内 容
分子細胞医学	連携大学院 (客員教授)	先端分子病態学	池 田 和 隆 Tel 03-6834-2390 e-mail ikeda-kz@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 ・依存症のゲノム解析, 行動薬理学的解析, 臨床応用研究 ・疼痛脆弱性および鎮痛薬感受性のゲノム解析, 行動薬理学的解析, テーラーメイド医療への応用 ・自閉症, AD/HDなどの発達障害の行動薬理学的, 分子生物学的研究 ・快・不快情動の分子メカニズム研究
			吉 川 欣 亮 Tel 03-5316-3311 e-mail kikkawa-ys@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 ・哺乳類遺伝学を基盤とした視聴覚疾患の発症に関与する遺伝子群の同定 ・ヒト疾患モデルマウスの樹立による個体レベルでの疾患発症機構の解明
			西 村 幸 男 Tel 03-6834-2373 e-mail nishimura-yk@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 ・人工神経接続による脳機能再建法の開発とその臨床応用 ・脳脊髄損傷後の機能回復メカニズムの解明 ・意欲・情動による身体運動制御の神経メカニズムの解明 ・行動制御を支える前頭葉, 大脳基底核, 小脳の構造と機能
			佐 久 間 啓 Tel 03-5316-3100 e-mail sakuma-hs@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 ・ミクログリアの発達・分化の分子基盤 ・ミクログリアの分化誘導と治療応用 ・小児の炎症性神経疾患の病態解明
			新 井 誠 Tel 03-6834-2380 e-mail arai-mk@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 ・統合失調症のゲノム、症例研究を基軸とする分子基盤の解明 ・統合失調症のバイオマーカー同定とその分子基盤の解明 ・マウス・細胞モデルを活用した統合失調症の分子基盤の解明 ・社会還元のための疾患層別化と個別化治療・早期支援法の開発
			糸 川 昌 成 Tel 03-6834-1779 e-mail itokawa-ms@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 ・精神・神経疾患の基礎的・臨床的研究 ・ヒトの精神・行動に関する基礎的・臨床的研究
			辻 比 呂 志 Tel 043-206-3300 e-mail tsuji.hiroshi@qst.go.jp	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 QST病院 ・重粒子線治療法の確立に関する研究

専 攻	大 講 座	教育研究分野	指 導 教 員	教 育 研 究 内 容
生体機能調節医学	内部環境医学	腎・膠原病内科学	成 田 一 衛 Tel 2192 e-mail naritai@med.	・原発性糸球体疾患の原因と病態の分子生物学的解析 ・原発性および続発性腎疾患の臨床病理学的研究 ・新規血液浄化療法の開発と再生医療 ・腎性貧血の治療法に関する研究 ・リウマチ・自己免疫疾患の成因の解明と治療法の開発 ・糖尿病・高血圧の病態解明と治療 ・腎臓病における病態栄養学 ・生活習慣病の成因と予防に関する大規模疫学研究 ・先天性腎疾患の遺伝子解析と治療法の開発
		呼吸器内科学	菊 地 利 明 Tel 025-368-9321 e-mail kikuchi@med.	・呼吸器疾患に関する研究 ・呼吸器感染症に関する研究 ・心身医学に関する研究 ・胸部悪性腫瘍に関する研究
		小児科学	齋 藤 昭 彦 Tel 2222 e-mail asaitoh@med.	・新生児・未熟児の発達生理に関する研究 ・小児各種疾患の病態に関する研究（感染症，腎臓，血液・腫瘍，循環器，内分泌・代謝疾患など） ・小児の各種疾患の分子生物学的研究（感染症，腎臓，血液・腫瘍，循環器，内分泌・代謝疾患など）
		基礎体液生理学	※ 日 比 野 浩 Tel 2071 e-mail hibinoh@med.	・新規薬物モニターシステムの開発と活用 ・内耳聴覚機能を支える特殊体液の電気生理学的・計算科学的の研究 ・音入力によって内耳に生ずる振動現象の研究 ・難聴を惹起する遺伝子改変動物の解析と病態生理連関の解明 ・理工学の先端技術を駆使した生体内計測装置の開発
		内分泌・代謝学	曾 根 博 仁 Tel 025-368-9026 e-mail sone@med.	・糖尿病、脂質異常症、高血圧、肥満などの生活習慣病や動脈硬化疾患、内分泌疾患の予防・治療（食事・運動療法を含む）に関する、ゲノム情報も含めた医療ビッグデータ解析（特に人工知能（AI）の活用）、臨床疫学、コホートを含む大規模臨床研究、メタアナリシス、医療経済学 ・上記疾患の遺伝子改変動物を用いた発症・重症化メカニズムの解明と新治療法開発のための基礎研究
		総合診療医学	問合せ先 准教授 長谷川 隆志 Tel 0718 e-mail htaka@med.	・全人的医療の実践に関する研究 ・卒前医学教育・卒後臨床研修・後期専門研修・生涯医学教育の一貫性に関する研究 ・多職種連携・チーム医療に関する研究 ・Common Diseases、プライマリ・ケアに関する研究
		臨床免疫学		※今年度募集なし
		緩和医療学	※ 西 條 康 夫 Tel 025-368-9003 e-mail yasosj@med.	・緩和ケアにおける身体的症状緩和に関する研究 ・緩和医療で使用されるオピオイドを中心とした鎮痛薬の研究 ・がん診断時から緩和ケアを実践するための体制整備に関する研究
	器官制御医学	循環器学	南 野 徹 Tel 2182 e-mail tminamino@med.	・心血管系の老化と再生医療に関する基礎・臨床研究 ・動脈硬化や代謝性疾患に関する基礎・臨床研究 ・不整脈の病態と治療に関する基礎・臨床研究 ・心疾患の病態と治療に関する基礎・臨床研究
		呼吸循環外科学	土 田 正 則 Tel 2240 e-mail masatsu@med.	・呼吸器外科・腫瘍学 ・心臓外科 ・血管外科 ・人工臓器・抗血栓治療 ・心肺及び組織移植

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
生体機能調節医学	器官制御医学	麻酔科学	馬場 洋 Tel 2323 e-mail baba@med.	・麻酔薬の作用メカニズム ・急性痛のメカニズムと術中術後疼痛管理 ・神経障害性疼痛のメカニズムと治療法 ・臨床神経生理・神経薬理 (術中神経系モニタリング) ・臨床呼吸循環生理 (術中呼吸循環モニタリング)
		救命救急医学	問合せ先 准教授 本多 忠幸 Tel 2338 e-mail honda@med.	・救急医療体制に関する研究 ・侵襲と生体反応に関する研究 ・重症患者管理に関する研究 ・生体モニタリングに関する研究
		病理形態学	※ 近藤 英作 Tel 2104 e-mail ekondo@med.	・分子機能解析と病理病態の解析を総合した腫瘍病理学研究 ・人体病理診断学の研修と資格取得のための学位研究 (病理専門医資格の取得のための学習) ・ゲノム遺伝子レベル及びタンパクレベルの検出を用いた病理診断技術の研究 (分子病理専門医資格のための学習)
	機能再建医学	肉眼解剖学	佐藤 昇 Tel 2045 e-mail nsato@med.	・運動神経・骨格筋系の形態形成に関する研究 ・比較形態形成学と進化的考察 ・脳における新規分子の機能に関する研究 ・生体への遺伝子導入と多光子イメージング
		基礎応用器官生理学	日比野 浩 Tel 2071 e-mail hibinoh@med.	・新規薬物モニターシステムの開発と活用 ・内耳聴覚機能を支える特殊体液の電気生理学的・計算科学的研究 ・音入力によって内耳に生ずる振動現象の研究 ・難聴を惹起する遺伝子改変動物の解析と病態生理連関の解明 ・理工学の先端技術を駆使した生体内計測装置の開発
		消化器・一般外科学	若井 俊文 Tel 2223 e-mail wakait@med.	・消化管外科 ・肝臓・胆道・膵臓外科 ・食道・胃外科 ・大腸外科 ・乳腺・内分泌外科 ・外科代謝・栄養学 ・臓器移植 (肝臓・膵臓)
		整形外科	問合せ先 准教授 川島 寛之 Tel 2272 e-mail inskawa@med.	・運動器 (骨・関節・軟骨・筋肉・神経) の修復・再生に関する研究 ・骨・関節・腱・靱帯のバイオメカニクスに関する研究 ・脊椎・脊髄疾患の病態と修復・再生に関する研究 ・手の外科疾患の病態と治療, マイクロサージェリーに関する研究 ・骨・軟部腫瘍の病態と治療に関する研究 ・関節リウマチの病態と治療に関する研究 ・骨粗鬆症と高齢者脆弱性骨折に関する研究 ・サルコペニア, フレイルに関する研究 ・運動器リハビリテーションとQOLに関する研究 ・四肢・骨盤/脊椎・脊髄外傷とその修復再建に関する研究 ・四肢における人工関節に関する研究
		小児外科学	木下 義晶 Tel 2258 e-mail kinoppy@med.	・新生児外科 ・小児内視鏡外科 ・小児固形悪性腫瘍 ・小児泌尿器外科 ・小児先天性呼吸器疾患 ・小児肝胆膵疾患 ・小児外科代謝栄養 ・小児鼠径部疾患
		腎・泌尿器病態学	問合せ先 准教授 齋藤 和英 Tel 2285 e-mail kazsaito@med.	・腎・泌尿器男性生殖器の構造と機能 ・泌尿器科腫瘍学 ・尿路結石の発生のメカニズム ・泌尿器生理学とその病態生理 ・腎移植と免疫抑制療法 ・尿路形成手術・泌尿器科内視鏡学 ・泌尿器科的内分泌 ・アンドロロジー

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
生体機能調節医学	機能再建医学	血液学	※ 曾根博仁 Tel 025-368-9026 e-mail sone@med.	- 造血細胞の分化と白血病の病態に関する基礎的・臨床的研究 (AIを活用したビッグデータ解析を含む) - リンパ増殖性疾患の病態と治療開発に関する病理学的・臨床的研究 - 同種造血幹細胞移植に関わる移植免疫、幹細胞学の基礎的・臨床的研究 - 血栓止血・血管生物学に関する基礎的・臨床的研究
		消化器病態修復学	寺井崇二 Tel 2203 e-mail terais@med.	- 消化器再生医学に関する研究 - 消化・吸収・代謝に関する研究 - 代謝に関わる免疫、脂肪化、線維化、癌化に関する研究 - 炎症と腸内細菌, <i>Helicobacter Pylori</i>に関する研究 - バイオマテリアルを用いた応用研究 - 橋渡し研究 (遺伝子治療, 細胞治療, 内視鏡を用いた低侵襲治療) - B型およびC型肝炎ウイルスに関する研究
	感覚統合医学	神経生物・解剖学	竹林浩秀 Tel 2053 e-mail takebaya@med.	- 神経系の発生および生後発達に関する研究 - 神経幹細胞から特異的ニューロン・グリア細胞を産み出すメカニズムの解析 - RNA制御を介した神経系細胞機能の解析 - 再生医学による疾患克服を目指した基礎研究 - モデル動物を用いた神経変性疾患の病態と治療に関する研究 - 高次脳機能発現の基盤となる神経回路の解析
		神経生理学	長谷川 功 Tel 2068 e-mail isaohasegawa@med.	- 視覚認知/イメージ/記憶の霊長類大脳メカニズム - 文字言語の霊長類大脳メカニズム - 社会認知の霊長類大脳メカニズム - 全脳電気記録法や光/化学遺伝学的脳回路操作法の開発
		精神医学	染矢俊幸 Tel 2209 e-mail psy@med.	- 精神科診断学 - 精神神経薬理学 - 精神疾患の分子遺伝学 - 精神疾患の分子生物学 - 精神疾患の神経画像学 - こころの発達医学
		視覚病態学	福地健郎 Tel 2293 e-mail tfuku@med.	- 緑内障性視神経症の細胞生物学的病態解明 - 緑内障治療のエビデンスと開発 - 原発開放隅角緑内障・正常眼圧緑内障の遺伝子解析 - 緑内障性視野障害とQOLの関連 - 眼科手術学・レーザー治療学 - 眼感染症・化学療法, 眼薬理学 - 眼病理学 - 神経眼科学 - 小児眼科学 - 臨床視覚電気生理学
		耳鼻咽喉科学	堀井 新 Tel 2303 e-mail ahorii@med.	- 神経耳科学, めまい平衡医学 - 側頭骨外科学 - 鼻科学 - 口腔咽頭科学 - 音声言語学 - 頭頸部腫瘍学 - 気管・食道科学
		機能画像医学	※ 問合せ先 准教授 吉村 宣彦 Tel 2315 e-mail nyryl103@med.	- 放射線診断学に関する研究 - 肺腫瘍の画像診断に関する研究 - 循環器疾患への新たな画像撮像法の応用に関する研究 - 画像診断手技を用いた種々の治療法に関する研究 - 中枢神経疾患の画像診断に関する研究
	腎科学	腎構造病理学	問合せ先 准教授 矢尾板 永信 Tel 2152 e-mail eyaoita@med	- 細胞間接着装置と細胞骨格を中心とした腎糸球体上皮細胞特性の解析 - 腎糸球体上皮細胞の培養法の確立 - 腎糸球体上皮細胞を中心とした糸球体構築の解析
		機能制御学	神吉智丈 Tel 2156 e-mail kanki@med.	- 異常なミトコンドリアを排除するミトコンドリアオートファジーと呼ばれる現象の分子機構 - ミトコンドリアオートファジーの生理的意義 - ミトコンドリアが原因となる疾患の治療法開発 - 新しいミトコンドリア解析技術の開発

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
生体機能調節医学	腎科学	腎分子病態学	河内 裕 Tel 2159 e-mail kawachi@med.	- 腎糸球体の発生・分化の分子機構の解明 - 糸球体血管壁のバリアー機構の解明 - 腎病変発症・進展機序に関する研究 - 腎病変の新規治療法開発に向けた基礎研究
		神経病理学	柿田 明美 Tel 0673 e-mail kakita@bri.	- 剖検による脳神経疾患の臨床病理学的研究 - 神経精神疾患の神経病理学的研究 - 脳腫瘍やてんかん病巣の病態病理学的研究 - 神経変性疾患や免疫疾患の病態病理学的研究 - 発生発達期脳障害の病態病理学的研究
	可塑性機能制御	脳機能解析学	問合せ先 生体磁気共鳴学分野 教授 五十嵐 博中 Tel 0676 e-mail higara@bri.	- 機能画像法を用いたヒト脳機能の研究 - 高分解画像を用いたヒト脳の微細構造の研究 - 偏微分方程式を用いたヒト脳機能の研究
		生体磁気共鳴学	五十嵐 博中 Tel 0676 e-mail higara@bri.	- 核磁気共鳴法を用いた脳の水動態の研究 - 磁気共鳴分光法を用いた脳代謝の研究 - 超変極磁気共鳴分光法の生体応用
		システム脳病態学	田井 中 一 貴 Tel 0900 e-mail kztainaka@bri.	- 透明化脳標本を用いた3Dイメージング技術 - 脳小血管病の3D画像に基づく病理学的解析 - てんかん原性脳病巣の3D画像に基づく病理学的解析 - 神経変性疾患の3D画像に基づく病理学的解析
			上野 将 紀 Tel 0684 e-mail ms-ueno@bri.	- 神経回路の発生、発達、可塑性のメカニズム - 運動や自律神経系の回路の接続と機能の研究 - 脳卒中や脊髄損傷での神経再生、再編、修復に関する研究 - 神経-免疫-臓器連関の病態の解明
		形成・再建外科学	松田 健 Tel 2593 e-mail matsuken@med.	- 微小外科学 - 再建外科学（頭頸部・四肢・乳房） - 末梢神経再生に関する研究 - 顎顔面外科学（頭蓋骨形成異常・唇裂口蓋裂） - 創傷治癒に関する研究

専 攻	大 講 座	教育研究分野	指 導 教 員	教 育 研 究 内 容
地域 疾病 制御 医学	国際感染医学	ウイルス学	藤 井 雅 寛 Tel 2115 e-mail fujiimas@med.	・ウイルス性神経疾患の発症機構に関する研究 ・ウイルス性白血病の発症機構と治療法に関する研究 ・造血幹細胞と白血病幹細胞の維持機構に関する研究 ・ストレス顆粒によるストレス応答機構 ・HTLV-1関連脊髄症の発症機構と治療法に関する研究
		免疫・医動物学	片 貝 智 哉 Tel 2133 e-mail katakai@med.	・免疫系細胞の機能と動態 ・免疫組織の構造と働き ・リンパ節ストローマ細胞の機能 ・免疫関連疾患、感染免疫応答の分子病態生理 ・癌リンパ節転移の分子機構
		細菌学	松 本 壮 吉 Tel 2050 e-mail sohkich@med.	・結核菌の細胞内寄生と結核発症の分子メカニズム ・細菌に対する免疫応答解析 ・細菌の増殖制御や鉄代謝などの生命現象の解析 ・結核に対するワクチンや治療法の開発 ・アフリカやアジアの途上国における感染症の調査と国際協力
		国際保健学	齋 藤 玲 子 Tel 2129 e-mail jasmine@med.	・国内・海外のインフルエンザウイルス感染症の調査（インフルエンザ薬剤耐性・分子疫学，インフルエンザワクチンの有効性評価） ・RSウイルスなど呼吸器ウイルス性感染症の分子疫学と予防に関する研究 ・J-GRID「ミャンマーにおける呼吸器感染症制御へアプローチ」 ・途上国における感染症研究 ・GISを使った地域住民の健康とソーシャルキャピタル（地域のつながり・幸福度）の評価 ・GIS（地図情報システム）の感染症への応用 ・GISを使った福島県放射能分布地図 ・GISを使った地域の医療受給調査 ・地域の人口推計 ・国際保健
		臨床感染制御学	※ 菊 地 利 明 Tel 025-368-9321 e-mail kikuchi@med.	・臨床感染症に関する研究 ・HIVの治療に関する研究 ・免疫不全と感染症に関する研究
		国際消化器感染病学	寺 井 崇 二 Tel 2203 e-mail terais@med.	・消化器疾患の内視鏡学的研究 ・ヘリコバクター・ピロリ関連胃病変に関する研究 ・感染性腸炎に関する研究 ・消化性腫瘍に関する研究
		トランスレーショナルリサーチ		※今年度募集なし
	地域予防医学	社会・環境医学	中 村 和 利 Tel 2124 e-mail kazun@med.	・認知症、骨粗鬆症、転倒骨折、膝関節症、慢性疼痛などの加齢性運動器疾患の疫学研究 ・認知症予防を目的とした尿バイオマーカー研究（プロテオミクス研究など） ・ビタミンD・カルシウムの疾病予防効果に関する研究 ・高齢者の身体機能低下、フレイルに関する疫学研究 ・胆のうがんの分子疫学研究 ・環境・産業医学 ・こころの健康に関する疫学研究
		法医学	高 塚 尚 和 Tel 2146 e-mail hou@med.	・法医病理学 ・法医画像診断学 ・法医中毒学 ・臨床法医学（子供の虐待とネグレクト） ・歯科法医学 ・法医同位体学 ・死因究明に関する法律学 なお、上記の教育・研究内容は、「死因究明に係る高度専門職業人育成プログラム」の一環として実施します。

専 攻	大 講 座	教育研究分野	指 導 教 員	教 育 研 究 内 容
地域 疾病 制御 医学	地域予防医学	健康増進医学	※ 齋 藤 玲 子 Tel 2129 e-mail jasmine@med.	・保健・医療の評価 ・地域保健（地域における包括的公衆衛生対策） ・生活習慣病の疫学と対策 ・健康政策学
		小児保健学	※ 齋 藤 昭 彦 Tel 2222 e-mail asaitoh@med.	・小児生活習慣病に関する研究
		リハビリテーション医学	問合せ先 准教授 川島 寛之 Tel 2272 e-mail inskawa@med.	・リハビリテーションに関する研究 ・生活設計，生活支援に関する研究 ・スポーツ医学に関する研究
	総合医療評価学	情報科学・統計学	赤 澤 宏 平 Tel 2471 e-mail akazawa@med.	・臨床試験デザインの統計理論 ・生物統計学の数理的な理論の新しい展開 ・費用対効果分析や病院経営分析手法の開発 ・医学におけるシミュレーション技法の開発 ・機械学習の解析研究
		薬剤評価学	外 山 聡 Tel 2782 e-mail toyama@med.	・薬物投与設計（オーダーメイドの薬物治療を含む） ・薬剤経済学 ・薬剤疫学とリスクマネジメント（副作用及び有害事象を含む）

2. 履修方法及び学位授与

- (1) 指導教員の指導の下に、授業科目等を定め、30 単位以上を原則として3 年次末までに修得しなければなりません。単位履修の認定は、試験又は研究報告等により行います。
- ① 専攻共通科目 6 単位以上（講義 2 単位、演習 2 科目 4 単位以上）
 - ② 専攻個別科目 20 単位以上
 - ③ 他専攻科目 4 単位以上
- (2) 本研究科に4 年以上在学し、所定の単位を修得しさらに独創的な研究に基づく学位論文を提出して、その審査に合格し、かつ、学位論文を中心とする最終試験に合格した者に博士（医学）又は博士（学術）の学位を授与します。

3. 入学料の免除及び徴収猶予

次に該当する者で、入学料の免除又は徴収猶予を願い出た者については、選考の上、入学料の全額若しくは半額を免除し、又は徴収猶予することがあります。

- ① 入学料の免除対象者
 - ・経済的理由により、入学料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
 - ・入学前1 年以内において、本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は本学に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納入が著しく困難であると認められる者上記に準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者
- ② 入学料の徴収猶予対象者
 - ・経済的理由により納入期限までに入学料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
 - ・入学前1 年以内において学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、納入期限までに入学料の納入が困難であると認められる者

4. 授業料の免除及び徴収猶予（延納又は月割分納）

次に該当する者で、授業料の免除又は徴収猶予を願い出た者については、選考の上、授業料の全額若しくは半額を免除し、又は徴収猶予することがあります。

- ① 授業料の免除対象者
 - ・経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
 - ・入学前1 年以内において学資負担者の死亡、風水害による災害等の特別な事情により授業料の納入が著しく困難な者
- ② 授業料の徴収猶予対象者
 - ・経済的理由その他により納入期限までに授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
 - ・学生又は学資負担者が風水害等の災害を受け、納入期限までに納入が困難であると認められる者

5. 奨学金制度

日本学生支援機構には、学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため就学困難であると認められる者に対し、奨学金を貸与する制度があります。その貸与月額は、下記

のとおりです。

この奨学金は、本人の申請に基づき、学業成績、研究能力及び家族の経済的事情を審査し、選考の上、適格者を日本学生支援機構に推薦し、決定されるものです。

貸与月額（令和2年度の場合）

第一種 80,000 円, 122,000 円から選択

第二種 5 万円, 8 万円, 10 万円, 13 万円, 15 万円から選択

6. 学研災付帯学生生活総合保険

この制度は、学生生活全般に補償範囲を拡大したもので、感染予防費用（針刺し時に講じた予防措置費用の健康保健等の自己負担分）や、損害賠償金（学生生活において偶然に発生した事故により他人にケガをさせたり、財物等を損壊して支払わなければならない賠償金）にも対応可能な補償内容となっております。詳細については、後日合格者に送付する「入学案内」で周知します。

7. 大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第14条に定める教育方法の特例について

社会人が大学院博士課程で学ぶ場合、現在の職業を退職あるいは休職でもしない限り大学院に入学し所定の単位を修得し、学位を取得することは困難であります。

そこで、本大学院医歯学総合研究科では、このような社会人に対し、大学院設置基準第14条「大学院の課程においては教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」という規定を導入して教育方法の特例を実施しております。

この特例により、社会人学生は、それぞれのテーマに応じ、指導教員と協議の上、通常の時間帯における授業のほか、夜間その他特定の時間又は時期における授業による単位修得の便宜を受けるとともに研究を継続させ、博士論文を作成することになります。特例を受けようとする者は、入学後、研究科長に特例適用の申請を行わなければなりません。

8. 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

- (1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、分析及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。
- (3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、合格者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。

また、個人情報のうち、合格者の氏名及び住所については、本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences (Med. Field).
Doctoral Program Entrance Guidance

1. Term of Study

Doctoral Program: four years

2. Requirement for completion

The student is required to register for at four years in this course, receive the guidance for research of medical science, and to master thirty units of the compulsory subjects.

3. Presentation of Diplomas

Niigata University confers the degree of Doctor of Philosophy on the student satisfying the above conditions (see Section 2) and passing both his/her thesis and graduation examination.

4. Fees

(1) Entrance Fee: ¥282,000 (estimated)

(2) Tuition Fee: ¥535,800 per year (estimated)

5. Exemption and Reduction of Entrance Fee

The student can be exempted from the total or one-half of entrance fee upon our selection if one applies at the entrance procedures. One of the following conditions must be satisfied:

- (1) The student who has serious financial difficulties and excellent academic records.
- (2) The student who has serious difficulties to pay the entrance fee because the person who bears school expenses, i.e., the guarantor dies, or because the student oneself or the guarantor suffers a disaster within a year prior to the entrance.
- (3) Applicants deemed by the University as having circumstances or reasons comparable to those mentioned above.

6. Exemption and Reduction of Tuition Fee

The student can be exempted from the total or one-half of tuition fee upon our selection if one applies after the entrance. One of the following conditions must be satisfied

- (1) The student who has serious financial difficulties and excellent academic records.
- (2) The student who has serious financial difficulties to pay the tuition fee because the person who bears school expenses, i.e., the guarantor dies, or because the student oneself or the guarantor suffers a disaster within half year prior to the date of payment of tuition fee (in case of new students; within a year prior to the entrance.)
- (3) Applicants deemed by the University as having circumstances or reasons comparable to those mentioned above.

7. Contact information

1-757 Asahimachi-dori, Chuo-ku, Niigata, Niigata 951-8510, Japan

Mail : medgakum@med.niigata-u.ac.jp

[Note] Please contact with a department that you hope to study in advance when you apply.